的

なり

加

が

様にも多く

参加

11

寸

結

力がある」

できまし

た。

村

長様始

諸井

市議会議

員、

各区

 $\mathcal{O}$ 

区

たように思

1

、ます。

防  $\mathcal{O}$ 

災訓

7  $\mathcal{O}$ 

大きな

いるな」とか

1時に頼<sup>8</sup> 域

りになるな」

訓

練

端を地

域

方々に見て

令和 4 年 11 月 1 日 11月号 第160号 久間地区地域 運営協議会 嬉野市塩田町久間乙 1920--5516(Fax 同じ)

## 間地区自主防災訓練3年ぶり開催









非常炊き出し作業

ただきました。 いう嬉し てな練 会 たれ  $\mathcal{O}$ 防 て  $\mathcal{O}$ 間 が皆様、 光 災 て中 地 連 1 言 お地そ 訓 絡いい لح で W なり 対策 は 行 コ年防10ロぶ災月 ーロナ禍ーぶりに をとりな わ れ なません 開催され で2年間 がら規模を縮 でしたが れ えました。 防災 地 連 絡 口 7 ょ 口 る 開 ナ 催 訓

月

30

日

(日)

間

地

主区地

災域

ユ

訓 コミ

が

連

絡会主

催

 $\mathcal{O}$ 

自

た。AED宍湾防の方々の 者の 訓練 習を受けることが 体温 カン 8 受付、 時 の人が段差を利 5 市より いらスターなりの災無線では 方々の 測定、 を区 本兼吾光武区 スを 実技訓練 椅 大雨 連  $\mathcal{O}$ うな 指 役員 携でスムー 田 による避難 担架) 消 できました。 用 は屋 で行 毒 を実施、 で 本部 想定  $\mathcal{O}$ て見やす 外で行っ 11 放 -ズに行り 操 が訓  $\mathcal{O}$ 水も地 口 避 きし ナ対策 1 練 難 たため、 われ、 で 開 消 11 E 域 位  $\mathcal{O}$ 火 民 始 地 を まし 避 の栓  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ を 方に

とか 行 ħ に御 炊き出 あ ただけたことも 動 ŋ  $\mathcal{O}$ 害とはちょっとかけ 方 Щ 動 心てみるということが出来たと思う行われ、「災害時の対応を」見て理実技研修が和やかな雰囲気の中で 日ごろの する消防団員の姿も 口立記第3 Þ

災害時の対応を」見て理

薢

する、

分団長の

指示の

てきぱきと

1

ま

W

地

の為に頑張

0

飯

が配

5

、まし

秋晴

れ

で爽やかれ

者全

れた天気でしたが

中でも

つ

行 れ

わ

'n

閉会式後には

元

婦

人による

炊飯

袋

で

 $\mathcal{O}$ 

の市

連 絡地域の危険個所説明 協 議 社 会福 祉 協 会

~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ Ŵ ĩ ĩ ĩ W W Ŵ W W T T W W W W W W W W W

な味方です。

盛

業がどんどんけ

に久間 15 口  $\bar{\mathcal{O}}$ 高 積 小学校が 地 橋松之助 極 元グ な紹 ル 7選ば ] 記念 ブ  $\mathcal{O}$ などで児 れ 読み ました。 などを表彰す 朝の 聞 読 童の カン 書大 がせ、 読

書量 貸出数が年 に価され 加 いうことです。 え、 テ ッ 地 たとのこと。 平 元読み聞 均 0 なが 200 学校 カコ 0 を せ  $\mathcal{O}$ 7 超えてい 人当たり 日 ブ 1 ル Þ ることが 0 努力 、る

張って いることも嬉し 1 す ź,

区

サ 生のミ T 10 ポ い思 を行 月 5 工 11 11 1 タ 口 1 日 日 ました。 に 5 供たちに を作 巾 は強 サ 6

## $\mathcal{O}$ 区 地 6 区 牛 $\mathcal{O}$ 地 坂 区 で 11 南 月

祭を輪番 ´ます 間 区 上 区 宮 光 は 中 武 通 間 区 元をつかさどり、 3 日 の 承され 間 X 秋季-6 • 7 大

ŋ

0

2 0

から

0 元

新

コ

口

ナ

ゥ

ス

感

大を受け、

よる

奉

納

催

事 1

中

止

がル

な症な拡 高 0 ておりました・・ 連 宮秋季大祭」 元による奉 長を中心に役員 が 3 が 復 民 0 下 下

殿より下宮 浮立」は完全な形で本殿で奉納することが ど準 ました。「 姫による が 大 は見合わ 一備をし のうちに 10 域 月より づくり 御神幸行列」も、 てきまし (おくだり) せ、北下久 ŋ 安の舞い 終了することが の )式典 森田信 、間浮立クラ は滞りなく ぼり旗  $\mathcal{O}$ と進み、 区民総出の 練習を 部規模を いたちの できました。 、と帰 郎 の 立 秋晴 北下 縮 ーこども 参列 宮に 7 による「 ñ おの 作業 大し 久  $\mathcal{O}$ 7 で 間 で き ぼ 再 鉦 舞 な  $\Diamond$ 

まる。

塩田

Tたりにし

7

いるので古く

は唐のか当

いは当然だろう。からの学校が校歌

野唐

吉田·

小

·学校 | | 中も

泉山

を入れる

る。 ・ 歌に 校歌も「芸空に高した

温田町泉山 市泉山 山唐泉の

り部会

間

たち ながら

0

帰り

ま し

ワ

さん

タ

か

どります。

Ŵ





鉦浮立クラブによる奉納

斎藤利治作詞、 『多良岳』・『泉の言葉が もみら, する詞 によるは なのだろうなぜん 須山 校聡 い羽詞は歌作 ように で曲かり間 こつめて、見える山頂した。 ばは他 たけ のあで 3 旧 望 学 غ





# は唐泉山をいつも目の山を仰ぎ見て」から始いる。今の塩田中学校の雄々しき姿」と唐泉 ペトロール活動担当地区のお知らせ

午後3時 15 分~4時 15 分まで

11 月 西 12 月 堤

の出 塩田

> である。 間

校の

ごき姿を

校 高

歌

0

で

泉

町

田

PTA もこれと別に月2回パト ています